

※「はらまち九条の会」は、超党派の自由な市民のゆるやかな会で、匿名でもけっこうです。現在の会員405名。さらに会員を募集中です。年会費千円をお願いしています。



# 九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.124

2010(平成22)年2月18日(木)発行

<映画「いのちの山河」のテーマ・憲法第25条は、【最低生活の保障、国の社会保障義務】を規定>

- 憲法第25条** ① すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。  
 ② 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

○健康で文化的な最低限度の生活 人間として生きていくための最小限の生活。単に生物的に生きているというだけではなく、人格が保持できていること。これを生存権という。  
 ○社会福祉 社会的な弱者、例えば生活困窮者、一人親(母子・父子)家庭などに対する保護・治療のための施策、施設の設置のこと。  
 ○社会保障 疾病、身体障害、老齢などによる生活困難に対して、国家が社会的責任を負って行う所得・サービスの保障。

○公衆衛生 社会全体の人の健康のため、病気の予防などを行うこと。伝染病の予防、飲食物取り締まり、検疫など。  
 ○向上及び増進 「社会的弱者」が安定した生活を確保して、人間的な生存を可能にするために、国の責務を定めている。  
 (一橋出版『憲法の解説五訂版』¥525より)  
 ■憲法9条で平和を維持し、この25条で生存権を保障、確保されてはじめて平和といえます。映画「いのちの山河」は日本で初めてそれを実現した岩手県沢内村を描いたものです。

## 映画「いのちの山河」チケットのご購入と販売にご協力ください

映画鑑賞券 ¥1,000

○2010年3月7日(日)  
10:00 14:00 18:00  
南相馬市原町区 朝日座

○5月15日(土)  
10:00 14:00 18:30  
小高区 浮舟文化会館

主催：いのちの山河、南相馬市上級委員会  
 後援：南相馬市教育委員会、南相馬市社会福祉協議会、朝日座を築く会、福祉市民社、福祉民社

チケットは1枚1,000円 チケット販売目標：1,200枚

- 会員の皆様が1枚購入していただければ、405名×1枚=405枚
- ご家族同伴で入場していただければ、405名×2枚=810枚
- さらに、知人などに紹介し、購入していただけたとするなら、405名×3枚=1,215枚販売で、会計上はOKとなりますが..

### チケットを購入するには、販売所は

<はらまち九条の会・小高九条の会の事務局員へご連絡ください>

- <原町区> 国際交流協会、南相馬市市民活動サポートセンター、花吹雪、文芸堂書店、北洋舎クリーニング、おおうち書店、アサヒ理容院、平田小児科医院、れすとらんぱびよん、井上薬局
- <小高区> 小松屋旅館、自然食品の店あいさい家族、サトウ教材社、広文堂書店小高店、セブンイレブン小高店 <鹿島区> 菊地書店
- 03月7日(日)原町朝日座・5月15日(土)小高浮舟文化会館共通券です。

### 老人医療費無料化奮闘した村長描く

#### 「いのちの山河」南相馬で試写会

半世紀前、全国で初めて老人医療費を無料化した岩手県沢内村(現・西和賀町)の深沢巖雄村長の奮闘を描いた映画「いのちの山河」日本の青空Ⅱ」の完成披露試写会が14日、南相馬市原町区の大正生まれの映画館「朝日座」で開かれた。全国公開が始まっており、県内でも来月6日の喜多方市を皮切りに4会場での上映が決まっている。

深沢村長は「豪雪、貧困、多病」の三重苦にあえぐ山あいの村で1960年、65歳以上の老人医療費無料化に踏み切り、翌61年に対象を60歳以上に取り上げた。「無料化は国民健康保険法違反」という県に対し、憲法25条の生存権を盾に反論。62年には全国の自治体で初めて乳児死亡率ゼロを達成した。映画は村長が「生命尊重」を掲げて村中を駆け回る姿を描く。

撮ったのは旧小高町(現・南相馬市小高区)出身の憲法学者・鈴木安蔵氏を主人公に日本国憲法誕生の経緯を描いた前作「日本の青空」の大澤豊監督。出演は長谷川初範、とよた真帆、加藤剛ら。

「日本の青空Ⅱ」製作委員会(東京)によると、3月6日の喜多方プラザホールに続き、同7日・南相馬市の朝日座、同9日・会津若松市文化センターホール、5月15日・南相馬市小高区の浮舟文化会館で、各地の団体によって上映される。

後援・推薦団体を招き

### 試写会を開催

記事は2月15日付「朝日新聞」、写真は「福島民報」より



「いのちの山河」の試写会に訪れた人たち

